



市街地再開発を核としたまちづくりを推進

～藤枝駅前地区市街地総合再生基本計画の策定～

要約すると

- 今年度末、10年先を見据えた市街地再開発を核としたまちづくりの指針を策定
- 市街地再開発事業とリノベーションの両輪で特徴と魅力あるまちづくりを推進
- 12月22日から1月15日までパブリックコメントを実施予定（「12/5 広報ふじえだ」でご案内）

本市では、第3期中心市街地活性化基本計画の基本方針である「付加価値の向上による、質の高い暮らしの実現」とともに、駅前地区再開発コンセプトである「持続可能で魅力あふれる徒歩圏暮らし」を目指し、10年先を見据えた市街地再開発を核としたまちづくりの指針「藤枝駅前地区市街地総合再生基本計画（計画期間：2019（平成31）～2028年度）」を今年度末に策定します。計画対象地区は、駅前地区（約19ha）となります。

現計画（計画期間：平成21～30年度）を、社会情勢や市政方針、地域の状況などの変化に応じて見直し、市街地再開発事業とリノベーションの両輪で特徴と魅力あるまちづくりを推進します。

この計画を策定することで、居住者や来訪者にとって必要な都市機能の集積を図り、魅力的な施設や店舗などの増加により、生活利便性の高い街なか環境を形成するとともに、活力ある良好な都市環境を促進します。また、点での乱開発を防止し、面的に都市機能を集積させ、戦略的にまちづくりを進めていくことが可能となります。

12月22日から1月15日まで、市役所行政情報コーナーや文化センター、各地区交流センター、市ホームページ等で、パブリックコメントを実施する予定でありますので、ぜひご意見等をよろしくお願いします。

藤枝駅前地区市街地総合再生基本計画（骨子案）【計画期間：平成31年4月～平成41年3月（10年間）】

<p>これまでの10年</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅周辺のポテンシャルは向上 駅南北の格差は拡大 	+	<p>中心市街地活性化基本計画(第3期)</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題1 生活利便性の不足 課題2 駅北地区の魅力低下 課題3 駅南の賑わい不足 課題4 商業の不足 	+	<p>市街地再開発として認識すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題1 駅南の賑わいと周辺地区でのイメージの乖離と駅北上層階級の増加 課題2 駅北再開発の増加一帯のポテンシャル低下(駅北の賑わいへの期待) 課題3 駅南側、空室の増加(再開発後の低下階層層住への対応が課題) 課題4 駅前再開発(商業、子育て・運動者支援等)の不足(サービスの集積不足)
<p>異なるまちづくりの取り組みが必要(成果の異なる化)</p>				
<p>基本コンセプト</p> <p>しずおか中部の生活・交流拠点を目指す中心市街地コアゾーンの形成と生活利便性が高く、安全・安心に生活でき暮らしやすい暮らしの実現</p> <p>～質の高い暮らし・溢れる賑わい～「藤枝駅前未来構想」</p>				
<p>戦略</p> <p>ポテンシャル引き上げ(再開発再開発事業)</p> <p>再開発再開発事業のまちづくり手帳を活用し、地域のポテンシャルを最大限に引き出すことで、戦略的かつ段階的進捗の進捗を図り、人と暮らしの求める力が高い街なか環境を創出する。</p> <p>駅北再開発の増加、駅南側の賑わいを創出することで、まちの賑わいと活気もたらされ、まちづくりのペースと方向性を調整(シビックプライド)が実現し、地区の活性化を推進する。</p> <p>駅前再開発の増加と、駅南側の賑わいを創出することで、まちの賑わいと活気もたらされ、まちづくりのペースと方向性を調整(シビックプライド)が実現し、地区の活性化を推進する。</p>				
<p>基本方針(ロードマップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①コアゾーンの形成(中心市街地再開発・プレイスメイキング) ②公共交通の分散配置とネットワークによる面的な発展 ③駅北側再開発の多様な機能と駅北の向上による求心性の強化 ④駅前再開発の賑わい創出 ⑤駅南側再開発の賑わい創出 ⑥駅北側再開発の賑わい創出による駅前上層階級形成 ⑦駅北側再開発の賑わい創出による駅前上層階級の形成 				



藤枝市中心市街地活性化推進課
しずおか中部の生活・交流拠点を目指します